

麦野A遺跡 10

— 麦野A遺跡第 26 次調査報告 —

福岡市埋蔵文化財調査報告書第 1403 集

2020

福岡市教育委員会

序

福岡市教育委員会では、埋蔵文化財を保護するとともに、再開発などによって破壊される場合には事前に発掘調査を行って記録保存をはかっています。本書は、麦野A遺跡内に位置する博多区麦野2丁目の板付小学校施設建設に伴って実施した、麦野A遺跡第26次調査成果について報告するものです。今回の調査により、古代のものとみられる遺構や遺物を確認することができ、地域の歴史を知るうえでの貴重な知見を得ることができました。

発掘調査にあたり、板付小学校をはじめ、関係者のご協力により調査を円滑に進めることができましたことについて深くお礼を申し上げます。この報告書が幅広く活用され、文化財保護への理解を深める一助となれば幸いと考えます。

令和2年3月25日

福岡市教育委員会
教育長 星子 明夫

例 言

- 本書は平成28（2016）年5月11日から5月31日に福岡市教育委員会が行った、福岡市博多区麦野2丁目3-1所在の麦野A遺跡第26次調査の報告書である。
- 発掘調査と整理報告書作成は、子ども未来局から経済観光文化局への令達事業として実施した。
- 検出遺構には2桁の連番号を付し、遺構の性格を示す記号としてSD（溝状遺構）、SK（土坑）、SP（柱穴・ピット）等を用いた。
- 本書に使用した遺構実測図は細石朋希が作成し、遺構写真は細石が撮影した。
- 本書に使用した遺物実測図は吉武学が作成し、本書に使用した図の製図は吉武が行った。
- 本書に用いた座標系は世界測地系であり、本書の図に用いた方位は座標北である。
- 本書の執筆と編集は吉武が行った。
- 本書に関する記録と遺物類は、整理後、福岡市埋蔵文化財センターで収蔵・管理する。

遺跡名	麦野A遺跡	調査次数	26次	遺跡調査番号	1602
遺跡略号	MGA	所在地		福岡市博多区麦野2丁目3-1	
分布地図番号	25-0048	申請面積	-m ²	調査対象面積	110.0m ²
調査面積	84.0m ²	調査期間		2016年（平成28年）5月11日～5月31日	

目 次

I はじめに	3
1. 調査に至る経過　2. 調査の組織　3. 遺跡の位置と環境	
II 発掘調査の記録	5
1. 発掘調査の方法と経過　2. 発掘調査の概要　3. 検出遺構と出土遺物	
III おわりに	7

I はじめに

1. 調査に至る経過

平成27年9月25日、こども未来局こども部放課後こども育成課より、博多区麦野2丁目3-1所在の板付小学校内における「留守家庭子ども会」施設建設についての埋蔵文化財確認調査依頼があった。申請地は「福岡市文化財分布地図」上では麦野A遺跡に含まれており、埋蔵文化財審査課で確認（試掘）調査を行った結果、地表下-40cmで土坑・ピット等の遺構を検出し、土器小片等が出土したことから、事業実施にあたっては発掘調査等を含む協議が必要となる旨の回答を行った。協議の結果、遺跡の破壊が避けがたいものとなり、発掘調査を実施することになった。

発掘調査及び整理報告は令達事業として以下の組織が行った。

2. 調査の組織

調査委託 福岡市こども未来局

調査主体 福岡市教育委員会（経済観光文化局文化財部（平成30年度より文化財活用部）埋蔵文化財課）

（発掘調査：平成28年度、整理報告：令和元（平成31）年度）

調査総括 文化財部埋蔵文化財課 課長 常松幹雄（28年度）

文化財活用部埋蔵文化財課 課長 菅波正人（元年度）

調査第1係長 吉武 学（28・元年度）

庶務 管理係長 大塚紀宜（28年度）

管理係 入江よう子（28年度）

文化財活用課 管理調整係 松原加奈枝（元年度）

事前審査 埋蔵文化財課 事前審査係長 佐藤一郎（28年度）

本田浩二郎（元年度）

事前審査係 吉田大輔（28年度）

松崎友理（元年度）

調査担当 調査第1係 細石朋希（28年度）

3. 遺跡の位置と環境

背振山系と東平尾丘陵に挟まれた福岡平野中央部には、御笠川・那珂川等の河川により形成された洪積中位段丘面の断続的な連なりが東西に2列認められる。福岡市博多区博多駅南から那珂、南区五十川、井尻、寺島、春日市須玖、下白水を経て那珂川市安徳につづく面と、福岡市博多区板付から諸岡、麦野、元町を経て春日市春日原に達する面で、これらは地質学上須玖面と呼ばれ、主に阿蘇山起源の広域テフラである Aso-4火碎流堆積物によって構成され、沖積低地から3～20mの比高差を有する平坦な台地となっている。麦野A遺跡はこのような低平な独立台地のひとつに立地しており、本調査地点はその北半部に位置する。

麦野A遺跡ではこれまでに29次の発掘調査が行われ、主に弥生時代・古代・中世の遺構・遺物が確認されている。特に第7次調査においてはN-55°-Eの方向の溝状遺構と柱穴列、及び陸橋・門跡とみられる8世紀～9世紀の遺構が検出されており、古代官衙に関連する可能性がある。

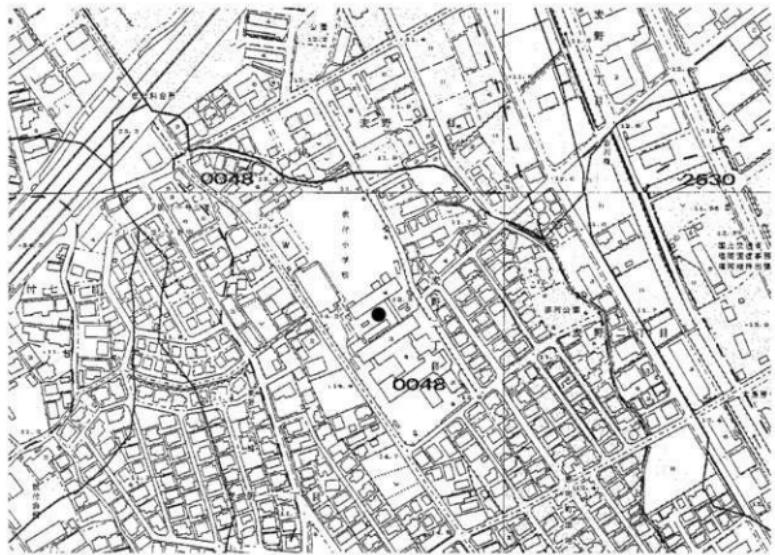


Fig.1 麦野A遺跡第26次調査地点位置図（1/4,000）

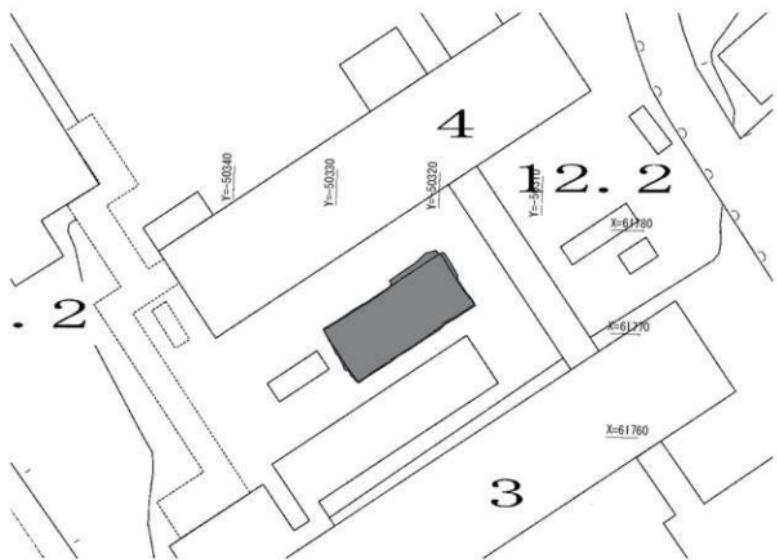


Fig.2 調査区位置図（1/500）

II 発掘調査の記録

1. 発掘調査の方法と経過

重機による表土はぎを5月11日（水）に行い、対象地の東半約2/3をまず調査対象とした。翌12日に条件整備を行い、発掘作業を開始した。19日（木）に東半の全景写真撮影、23日（月）に重機による反転作業を行い、残る西半約1/3の調査に着手した。26日（木）には西半の全景撮影を行い、31日（火）に埋め戻し撤収した。

2. 発掘調査の概要 Fig.3、PL.1・2

発掘調査地点は板付小学校内で、調査前は校舎にはさまれた中庭であった。昔の校舎のために埋設されたとみられる水道管・排水管が数条みとめられ、多くは使用されていないものだが、一部は生きているものもあった。

遺構面は赤褐色の鳥栖ロームで、削平を受けているものと考えられる。地表面から深さ20～40cmを測り、地表面の標高は13.9～14.1m、遺構面の標高は13.7m前後である。

検出密度は薄く、土坑3、小溝状遺構1、ピット状遺構12である。出土遺物はコンテナ1箱で、内容は土器小片が大半で、須恵器壺蓋や土師器椀、黒色土器A類椀の小片などの古代の遺物が数点出土したほか、ローム層の一部から黒曜石チップが出土しており、旧石器時代遺物の可能性がある。

3. 検出遺構と出土遺物

(1) 検出遺構 Fig.4

土坑 SK01

調査区東隅で検出した円形プランの土坑である。長径0.8m、短径0.5m以上、深さ30cmを測る。断面逆台形状で、底面中央がやや盛り上がる。土器小片が数点出土したが図示できるものはない。

小溝状遺構 SD02

SK01の西に1m強離れて検出した。略南北方向に約1m伸び、南端は収束し、北端は現代埋設管に切られている。幅10cm、深さ5cm程度である。Fig.4-4の須恵器小片のみが出土した。

土坑 SK04

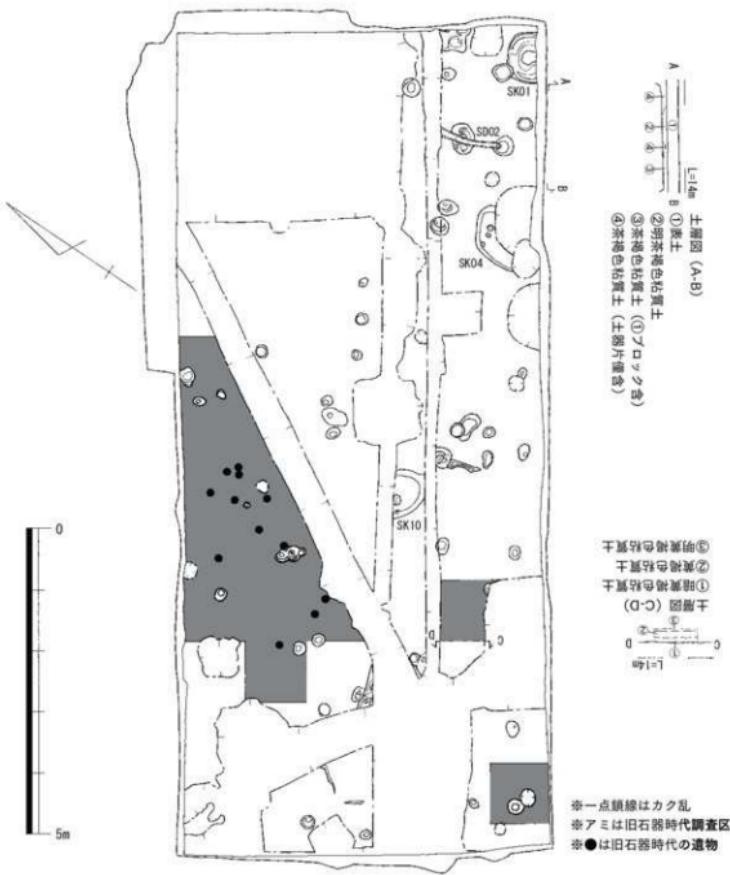
SD02の南西側約1mに位置する土坑である。南東側を擾乱坑に切られ全形不明。長径1.1m以上。断面逆台形で、深さ15cm。土器小片が数点出土したが図示できるものはない。

土坑 SK10

調査区中央のやや南寄りに位置する。両端を擾乱溝に切られるが、径0.8m前後の円形プランをなすものとみられる。断面は皿状を呈し深さ10cm。土器小片が数点出土したが図示できるものはない。

(2) 出土遺物 Fig.4

図示可能な遺物は4点のみで、他の出土品はいずれも小片のため図化できない（図の番号の右側に出土遺構を記した）。1は土師器椀の高台部小片で器面は剥落する。2は須恵器壺蓋で、端部を下方へ折り返し凹線を巡らす。内外に明瞭な稜がある。3は須恵器壺蓋で端部は断面三角形をなし、内外に明瞭な稜がある。4は須恵器壺の口縁部で端部が三角形に肥厚する。大口径土器の小片のため法量不明。古代遺物か。



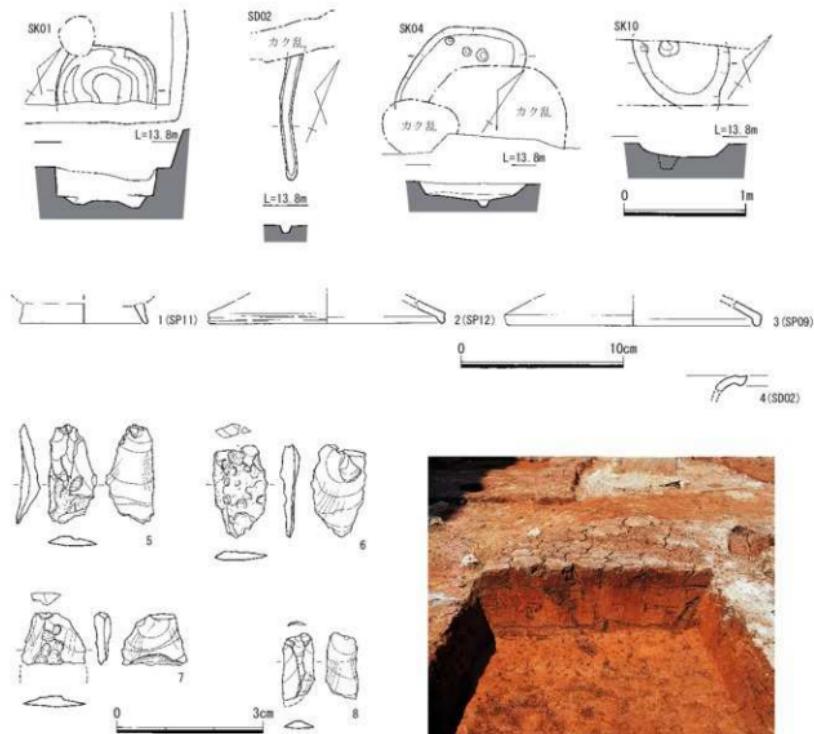


Fig.4 検出構造(1/40)と出土遺物(1~4は1/3、他は1/1) PL.3 ローム層断面写真(北東から)

(3) 旧石器時代包含層の調査 Fig. 3・4、PL.3

遺構検出および掘り下げ中に、地山であるローム層からバティナの発達が顕著な黒曜石チップが出土したため、ローム層の残りが良い範囲を対象にグリッドを設け掘り下げを行った。Fig. 3 にアミで示した部分が調査範囲で、●はチップ等の出土位置を示すが、図化した遺物は全て遺構検出時に出土したものである。

5～8は黒曜石製の剥片・チップで、いずれもバティナの発達が顕著であり旧石器時代の所産と考えられる。8は細石刃に形状が似る。図化した遺物の他はいずれも碎片に過ぎない。

III おわりに

調査した面積自体が狭いが、それにしても検出構造は少なく、出土遺物も僅かである。古代の土器小片が散見されることから、古代集落の縁辺部にあたっている可能性が考えられる。

また、旧石器時代のものとみられるバティナの発達した黒曜石チップが出土しており、周辺の南八幡遺跡などに認められる旧石器時代人の活動が当該地にまで及んでいた痕跡と考えられる。

報告書抄録

ふりがな	むぎのえーいせき 10						
書名	麦野A遺跡 10						
副書名	麦野A遺跡第26次調査報告						
シリーズ名	福岡市埋蔵文化財調査報告書						
シリーズ番号	第1403集						
編著者名	吉武 学						
編集機関	福岡市教育委員会						
所在地	〒810-8621 福岡市中央区天神1丁目8-1						
発行年月日	2020年3月25日						
ふりがな 所取遺跡名	ふりがな 所 在 地	コード		北緯	東経	発掘期間	発掘面積 m ²
		市町村	遺跡番号				
むぎのえーいせき 麦野 A 遺跡	ふくおかしひめなかく 福岡市博多区 むぎのえーいせきのまち 麦野2丁目3-1	40132	0048	33.5558	130.4580	20160511 ～ 20160531	110
所取遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
麦野 A 遺跡	集落	旧石器時代・古代	土坑・ピット状遺構	黒色土器、土器片、 黒曜石チップ	旧石器時代および古 代の集落の縁辺部か ら出土する可能性が考 えられる。		
要約	調査した面積自体が狭いが、それでも検出遺構は少なく、出土遺物も僅かである。古代のものとみられる土器小片が散見されることから、古代集落の縁辺部にあたっている可能性が考えられる。 また、旧石器時代のものと推定される黒曜石チップが出土しており、周辺の南八幡遺跡群などに認められる旧石器時代人の活動の一部が当該地にまで及んでいたものと考えられる。						

麦野A遺跡 10

—麦野A遺跡第26次調査報告—
福岡市埋蔵文化財調査報告書第1403集

2020年（令和2年）3月25日

発行 福岡市教育委員会
福岡市中央区天神1丁目8-1

印刷 城島印刷株式会社
福岡市中央区白金2丁目9-6